

七条中学校だより8月2号

京都市立七条中学校

令和8年8月27日

発行:校長 林 秀雄

七中祭に向けて「結果」だけでなく、「過程」を大切に

本校では、学校教育目的である「豊かな人間性と未来社会の中でより良く生きていける力を身に付ける」の実現に向け、「自律・探究・貢献」を学校教育目標に掲げています。そして、生徒行動目標「人・学・和を大切に」を合言葉に、日々の学校生活を送っています。

その実現のために、本校が大切にしているのが「七条のプロセス」です。自ら考えて行動する「自律」、よりよい方法を探し続ける「探究」、仲間や周囲のために力を尽くす「貢献」。そして、その中で「学び」「挑戦」「努力」を積み重ね、「成長」へとつなげていく。この一連の道筋を私たちは大切にしています。

2学期には七中祭があります。合唱の部も体育の部も、コンクールや競技として実施されるため順位がつきます。どのクラスも、どの団も、優勝という目標を掲げて取り組むことでしょう。昨年度の七中祭後、生徒たちはこんな言葉を残していました。

「最初は全然まとまらなかったけど、少しずつみんなが同じ方向を向けるようになったことが一番うれしかったです。」

「優勝はできなかったけれど、本番まで毎日練習したことは自信になりました。」

「みんなの前で意見を言うのが苦手でしたが、七中祭を通して挑戦することができました。」

「しんどい時もあったけど、クラスみんながいたから最後まで頑張れました。」

「結果発表の時は悔しくて涙が出ました。でも、それだけ本気で取り組めていたんだと思います。」

「優勝した時よりも、練習の中でクラスが一つになっていくのを感じたことが印象に残っています。」

「自分たちで考えて改善していくことの大切さを学びました。」

「本番が終わった後、『やり切ったな』と思えたことが一番良かったです。」

これらの言葉から分かるのは、生徒の皆さんの心に残っているのが結果だけではないということです。仲間と支え合ったこと、勇気を出して挑戦したこと、うまくいかないことを乗り越えたこと、自分自身の成長を実感したこと。そのような経験こそが、生徒の皆さんの大きな財産になっています。もちろん、結果が良ければうれしいものです。目指した結果に届かなければ悔しいものです。その気持ちは決して否定されるものではありません。むしろ、その喜びや悔しさは、本気で挑戦し、一生懸命努力してきた証です。

だからこそ、私は生徒の皆さんに、順位や結果だけに目を向けるのではなく、その過程を大切にしてほしいと思います。「昨日より大きな声で歌えた。」「仲間のよさに気付けた。」「苦手なことにも挑戦できた。」「最後までやり抜くことができた。」そんな一つ一つの積み重ねが、皆さんの成長です。

七中祭に向けた取組を通して、生徒一人ひとりが「一生懸命取り組むことの意味」や「努力することの価値」を実感し、仲間との絆を深め、大きく成長してくれることを期待しています。そして、七中祭が終わった時に、「結果だけではなく、この仲間と本気で取り組めてよかった。」そう胸を張って言える取組にしてほしいと思います。

校長先生からの宿題 覚えていますか？

夏休み前の学校だより（7月16日号）で、みなさんに一つの宿題を出しました。それは、●合唱の部で歌うクラスの選択曲の歌詞を覚えること●自分のパートの音取りをしっかりとしておくこと でした。いよいよ2学期が始まり、明日から合唱練習も本格的にスタートします。みなさんは、この宿題に取り組むことができたでしょうか。合唱は、ただ歌を歌うだけの活動ではありません。一人ひとりの声と心を合わせ、クラス全員で一つの音楽を創り上げる活動です。そのためには、自分のパートをしっかりと覚え、自信をもって歌えるようにしておくことが大切です。もし、一人ひとりが歌詞や音程を十分に身に付けた状態で練習に参加できれば、クラス全体の練習は大きく前進します。歌詞を覚えることや音取りをすることは、自分自身のためだけでなく、クラスの仲間のためでもあるのです。また、クラスで合唱するということは、みんなの気持ちを一つにするということでもあります。「より良い合唱をつくりたい。」「みんなで心を一つにしたい。」「仲間と最高のステージをつくりたい。」そんな思いが集まったとき、歌声は大きな力を生み出します。

夏休みの間に準備を進めてきた人は、その努力を自信に変えてください。まだ十分でない人も、今からでも遅くありません。改めて歌詞カードを開き、音源を聴き、自分のパートを確認してみましょう。みなさん一人ひとりの準備がクラスの力となり、その積み重ねが七条中学校の素晴らしい合唱へとつながります。合唱の部当日、仲間と心を一つにした感動の歌声が会場いっぱいに響くことを楽しみにしています。まずは、一人ひとりができる準備をしっかりと整え、2学期の合唱練習に臨みましょう。